

2024-25 年度  
福山西ロータリークラブ

## 例会情報

第 1583 回 (9)

会 長 鹿 内 要 秀 幹 事 吉 山 聡

クラブ会長テーマ



「 奉仕によるこび、よりよい社会を築こう 」

日 時	2024 年 9 月 10 日 (火) 12 : 30 ~
場 所	福山ニューキャッスルホテル
例会行事	点 鐘 ・ ソング 「 我等の生業 」 ゲスト・ビジターの紹介 ( 出席報告参照 ) 会 長 報 告 幹 事 報 告 出 席 報 告 S A A 報 告 ス マ イ ル 報 告 プ ロ グ ラ ム 情 報 そ の 他 報 告
その他情報	メークアップ情報 ( 来週分 ) メークアップ情報 ( 再来週分 ) 今後の行事予定 クラブ活動報告



## 【 会 長 報 告 】

### 信頼あってこそその奉仕

私たちロータリアンは奉仕活動を通じて地域の人々の生活の質の向上や世界平和に貢献しています。しかし、胸に挿しているバッジを外して一個人として奉仕活動をしよとしたら相当難しい問題が発生すると思います。

なぜならば、人間は根本的に疑り深く他人からの善意には用心するからです。

2500年前のインドの文献にもそのことが書かれています。それは、ある人が町中で困っている人を見つけては救いの手を差し伸べるといってお話です。

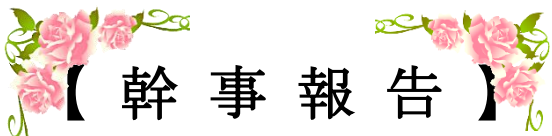
その人は困っている人を見つくと誰彼構わず奉仕の手を差し伸べます。しかし知らない人には不審がられて手を払われてしまいます。それでも放っておけないので、少し離れたところから声をかけますが、今度は石を投げられて追われてしまいます。

また、知人に手を差し伸べると今度はうまく利用されて損をしてしまいます。やがてその人は軽蔑されるようになります。それでも諦めずに奉仕活動を行っている、少しずつその行いが認められるようになり、一緒に奉仕をする仲間も増えていきました。

やがてその集団が行う奉仕活動は利益目的ではないことが社会に認知されるようになると、困っている人が自然に集まって来るようになり、奉仕を受ける側も奉仕をする側もお互いに心が通い合った純粋な奉仕活動が出来るようになったということです。

このお話を引用するまでもなく、いま私たちロータリアンが社会で堂々と疑われることなく奉仕活動が出来るのは、もっぱらロータリーの諸先輩方が築いてこられた信頼によるものであるのは疑いありません。では、その信頼はどうやって築かれたのでしょうか。それは奉仕に対する誠実な姿勢と誰が見ても安心出来る品位ある言動だと思います。

ですから、私たちロータリアンはその信頼を毀損するような行動は厳に慎まなければいけません。そして常に品位ある言動を実践しなければならないのです。



## 【 幹 事 報 告 】

No.	内 容
1	第 2710 地区事務局 ・2024-25 年度第 1 回地区行動計画推進会議【Zoom ミーティング】のご案内 ・財団室 NEWS 2024 年 9 月号 ・2024 年 9 月   基本的教育と識字率向上月間 ・ロータリー文庫 決算報告書送付の件 ・ロータリー文庫 決算報告書送付の件
2	松永 RC より ・2024-25 年度 クラブ活動計画書
3	福山丸之内 RC より ・G10・G11 11RC 負担金納入のお願い

# 【プログラム情報】

## 《ロータリー情報委員会 会員セミナー》

ロータリー情報委員会 パート1

【ロータリー哲学について】

ロータリー情報委員会 竹中雅彦



本日はロータリーの本質について説明させていただきます。その前に奉仕とボランティアを混同されていることがありますので整理させていただきます。

奉仕とは

1. 国や社会に尽くすという意味です。
2. 見返りを求めない労働行為を指します。
3. 労働に対して対価が発生した場合は奉仕活動とは言わない。
4. 奉仕活動は自発性の有無は関係ありません。

ボランティアとは

ボランティアは4つの条件を満たします。

1. 自主性、自発性
2. 社会性、連帯性
3. 無償性、無給性
4. 創造性、開拓性、先駆性

奉仕とボランティアの違いは自主性があるか否かの違いです。

ロータリアンが奉仕活動（五大奉仕）に何を求めて行動すると言えば心の浄化だと言われています。その場合、感謝、感動、達成感が伴わなければ心の浄化は生まれません。また支援者と受益者は対等でなければこれらの感情は生まれません。例会でロータリーソングの奉仕の理想を唱和されますが奉仕の

理想とは何なののでしょうか。哲学的になりますますが最小利己最大利他の追求ということになります。ロータリーは基本的には一つの人生哲学であります。利己的な欲求と利他の感情の間の葛藤を和らげる哲学です。その哲学は Service Above Self の哲学であり He Profits Most Who Serves Best（最も多く奉仕するもの最も多く報われる）の実践倫理に基づくものであると言われています。抽象的で分かりずらいかもしれませんが対象が患者様であったりサービス業のお客様であったり、海外の子供達などに対して自分の欲求を最小に抑え相手に利益をもたらす最大限の努力をすることで相手に喜んでもらえることを追求することだと思います。

それを積み重ねることが心の浄化につながるのではないかと思います。

職業奉仕の哲学とは職業の道徳性を追求するものです。ロータリーでは奉仕の理念が職業奉仕理念となります。すなわち「最も多く奉仕するもの最も多く報われる」です。このモットーを提唱したのがアーサー フレデリック シェルドンです。シェルドンは職業奉仕を経営学として理論的に述べています。人間の本能をむきだしにした弱肉強食の自由競争を否定し、事業を営むことは経営学という学問を実践すること、事業の発展は末長く利益をもたらす顧客を確保すること、原因結果論・大きな火には大きな熱、大きな奉仕には大きな報酬が生まれる、利他の心を持って他人の成功を願うことが自らが成功する秘訣であると述べています。

顧客に満足度を与える具体的経営方法とは以下のようなことです。

- 高い品質を保つのは安全性・賞味期限が必要である。
- 適正な価格とは需要供給のバランスが必要である。
- 経営者・従業員の接客態度
- 豊富な品揃え
- 公正な広告とは虚偽・誇大広告を行わない。
- 高い商品知識には高度な専門知識が必要である。
- アフター・サービスを取り入れること PL 法

これらを実施することでリピーター新規顧客を獲得することが可能となり結果として高い職業倫理に繋がる。

#### 事業における人間関係学

- 事業上得た利益は、事業主のみのものではない。
- 事業は、経営者、従業員、取引業者、顧客、同業者すべてによって支えられている。
- これらの人々と、利益を適正に配分すれば、自らの事業は継続し発展することを自らの事業所で実証できる。
- 自らの事業所でそれを実証することによって、業界全体の職業倫理が向上する。
- 職業奉仕の受益者は顧客と事業主の双方でなければならない。

ロータリーの本質と職業奉仕理念を簡単に述べましたがロータリー哲学は奥が深いのが実感です。



# 【その他報告】

## 《各種表彰等》

【皆出席】



《皆出席1年 奥野 充喜 さん》

【ロータリー財団 表彰】



《ポール・ハリス・フェロー 北村 富喜子 さん》

# 【クラブ活動報告】

特にありません。

